



伊江島 広報

No.379

平成23年 6月号

ふ は つ ち ゃ ー



「人権の花」運動における苗の植え付け式



「育てよう美しい花と優しい心」をスローガンに、5月10日、西小学校で人権の花運動の植えつけ式を開催しました。

この運動は、花を育てながら命の大切さや思いやりなど「人権尊重の精神」を育むことを目的に、名護人権啓発活動地域ネットワーク協議会の、地域人権啓発活動活性化事業の一環として、伊江小学校及び西小学校で展開されています。

今回の人権の花運動では、メランポジウムという花を選定しました。メランポジウムには「元気」「あなたはかわいい」「小さな親切」という花言葉があり、人権の花にぴったりです。7月～11月にかけての長い間、つぎつぎと小さく黄色い花をぼんぼんと咲かせ、

黄色い花と、緑の葉のコントラストがひときわ目を引くととてもすてきな花です。

児童みんなで一生懸命協力して、7月に行う伊江小学校での開花式には、美しい花と優しい心を咲かせるよう頑張っていきます。

村の世帯数と人口の比較(5月31日現在)					5 月 生 児 数
	昭和46年 (40年前)	平成3年 (20年前)	平成23年	先月比	
世帯数	1,445	1,871	2,236	4	1
総人口	6,303	5,579	4,857	▲5	
男	3,000	2,769	2,468	▲8	
女	3,303	2,810	2,389	3	

第16回 伊江島 ゆり祭り

期間中、3万5千人余のお客様が伊江島ゆり祭りをお楽しみいただきました！

第16回伊江島ゆり祭りが4月16日〜5月5日まで開催されました。

今回は祭りをおして日本を、伊江島を活気づけようと趣向を凝らしたイベントを企画しました。

会場本部には東日本大震災の復興を支援しようと募金箱を設置し、2万6千782円の義援金が寄せられ日本赤十字社を通して寄付されることになっています。また、伊江漁協では「もずくの目」にちなみ、もずくスープを振る舞い、商工会では第1回ヨットレース大会、恒例のストラックアウト大会、オーブニングでの児童・生徒による司会やあいさつ、吹奏楽部の演奏、青年会・婦人会・老人会、民俗芸能保存会、村内アマチュアバンド、郷友会などの各団体が積極的に参加し祭りを盛り上げていただきました。伊江島愛馬倶楽部での乗馬体験や、しみじみ会のミニ動物園等動物とふれあう家族の満喫した様子がかがえました。JA伊江支店では物産センターでらっきょうなど農産物の売り込みに協力しました。伊江郵便局でも駐車場係りのボランティア活動を行い「村ぐるみの祭り」を展開することができました。

今年は何年より気温が低く、開花が一週間程度遅れましたが、4月末頃から開花をはじめ、3万人余の来場者は百万輪の真っ白な世界に感動し、カメラのシャッターを押す光景が目につきました。又、昨年10月24日にラジオ沖縄のパーソナリティーやリスナーで植えたゆりを見ようと100名のツアー客がリピーターとして来島しました。更には、総合学習の時間に西小6年生と伊江小4年生が植えた球根もみごとに咲き誇っていました。

次回も「村ぐるみ」を祭りのキーワードに様々なアクシヨンを展開していきますので、ご理解とご協力をお願いします。

開催にあたり祭りへご協力してくださった村内外の皆さま、素晴らしいゆり祭りが開催できましたことをこの場をお借りし厚く御礼申し上げます。



村外でもアピールしています。



開花宣言&テープカット



ゆりに負けず劣らぬ伊江村婦人会の皆さん



琉神マブヤー伊江島初上陸!



保育園児たちもかわいらしいエイサーを披露しました



幸せそうな3人末長くお幸せに



力強い演武を披露した名護桜太鼓



又ステージイベントでは会場に入りきらない観客であふれました



吹奏楽部の皆さんの素晴らしい演奏

たくさんさんのイベントが開催されました。
上位入賞者は次の通りです。(敬称略)
ご参加いただいた皆さん、本当にありがとうございました。

各種成績

ゆり祭りゴルフ大会

(四月十六日～二十四日) 伊江島カントリークラブ
大会チャンピオン 金城繁雄59
一般・中学生の部 ベストクロス 知念 清
グランドシニアの部 ベストクロス 大城健男
レディース・小学生の部 ベストクロス 新川淳子

ストラックアウト沖縄全島大会

四月十七日(優勝者のみ)
一般の部 阿波根孝尚
中学生の部 玉城斗真
小学生の部
6年生 内田斗夢
4年生 大城英寿
3年生 本山嵐士
2年生 阿波根大河
1年生 島袋偉海

第3回リリーカップゲートボール大会

(四月十八日) 旅行村ゲートボール場
優勝 東江前Cチーム
二位 阿 良Bチーム
三位 東江上Cチーム

カラオケ大会(四月二十四日)

子どもの部 優勝 知念優李亜
特別賞 知念らんこ、玉城えみか、
須崎こな
大人の部 優勝 古谷沙妃
特別賞 上原健一、東江 弘



爆笑トークで会場を沸かせたひびく&みーかー
伊江島のジャイアン&スネオも飛び入り出演しました



今年は乗馬体験も行われ大好評でした



ゆりにも心地良い大城友弥さんの美声



カラオケ大会お疲れさまでした



nuchiのメンバー伊江村出身ウッチーさん



ピエロとお友達になりました



棚原弥勒太鼓も念願のゆり祭り出演



ますます磨きのかかったネーネーズ



民俗芸能保存会の皆さん



ダイナミツの演奏に会場はダンスホールと化した



久しぶりの出演となったイースタンクルー



毎年レベルアップして帰ってくるドントストップ



村内アマチュアバンドによるラストナイトライブで最後の夜を締めくくった

海に親しむ皆様へ

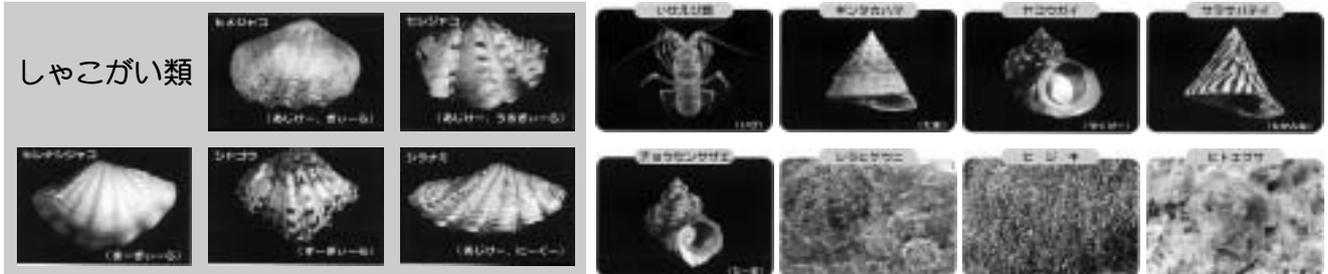
そのルールとマナー

取らないで下さい！ 漁業者からのお願いです！

※その他にも、モズク、オゴノリ等があります。

漁業者は漁業権により、日々、皆さんの食卓に水産物を提供するために漁業をしています。これらの種類を取ったり、漁業者の操業の邪魔をすると、漁業権の侵害として訴えられ、最高で20万円以下の罰金という罪に問われることがあります。

(資料提供) 沖縄県水産課 漁業管理班



また、これらの種類は、重要な水産資源ですから、たとえ漁業者であっても、取ることができない以下のルールがあります。

沖縄県漁業調整規則での禁止事項

禁止期間

しゃこがい類 (6月1日から8月31日まで) いせえび類 (4月1日から6月30日まで)

体長制限

いせえび類 (体長18cm以下)、ヒメジヤコ (殻長8cm以下)、シャゴウ (殻長15cm以下)、ヒレジヤコ (殻長20cm以下)、ヒレナシジヤコ (殻長30cm以下)、チョウセンサザエ (口径3cm以下)、ヤコウガイ (口径6cm以下)、サラサバテイ (殻の短径6cm以下)、ギンタカハマ (殻の短径6cm以下)、クロチョウガイ (殻高10cm以下)、マベ (殻高10cm以下)、エラブウナギ (体長60cm以下)、ウナギ (体長10cm以下)

これを守らないと、沖縄県漁業調整規則違反として最高で10万円の罰金と6ヶ月以下の懲役を合わせた罪に問われます!!

守ってください

海のマナー

水上バイクやダイビング、釣りを楽しむ場合は、操業中の漁船や漁業者または、定置網、養殖用のイカダの周囲から離れて行いましょう。
「資源に限りあることを考え、必要以上に魚介類を獲ることは避けましょう。」
釣りで残ったまきえや釣り糸、空き缶やビニール袋などのゴミは、海に捨てずに必ず持ち帰りましょう。

労働安全衛生法に基づく 平成23年度6月講習会のご案内

フォークリフト運転 初心者10名・経験者30名

コース	学科	実技
初心者：5日間 ¥45,075 (テキスト代込み)	6/27 (月) 9：00～18：00	最大荷重1t以上のフォークリフトの運転業務(道路上の走行を除く) 初心者 6/28 (火)～7/1 (金) 4日間 9：00～17：00
経験者：2日間 ¥14,075 (テキスト代込み)	北部会館3F (名護市宇茂佐)	経験者 6/28 (火) 29 (水) 30 (木) 経験者はいずれか1日 9：00～17：00
ところ：ネオパークオキナワ駐車場 (名護市宇茂佐)		

※【経験者】フォークリフト運転経験3ヶ月以上有る者 (申込順で組み分けします)

※申込は先着順の受付とし、定員になり次第締め切らせて頂きます。
※受講者が少ない場合は、中止又は延期になる場合があります。予めご了承下さい。
※講習規定により遅刻、早退、欠席者は失格となりますのでご注意ください。
※顔写真2枚 (縦3cm×2.4cmポラロイド、デジタルカメラ撮影不可) 必要となりますのでお申込み時に提出して下さい。
※お支払い頂いた受講料は、払いもどしできませんのでご了承下さい

お問い合わせ先

(社)沖縄県労働基準協会 北部支部
名護市宇茂佐1399-2(北部会館4F)
TEL.0980-54-4700

住宅用火災警報器について

消防法の改正により、平成23年6月1日より義務化された住宅用火災警報器に関して、伊江村では住宅火災を早期発見し、村民の生命及び財産を守り、安心・安全な暮らしづくりを推進します。
※原則として、寝室と、他階にも寝室がある場合は階段への設置が必要です。詳しくは、役場総務課または、消防団へお問い合わせください。

平成23年度危険物安全週間推進標語

「危険物無事故のゴールは譲れない！」

今日、石油類をはじめとする危険物は、事業所等において幅広く利用されるとともに、国民生活に深く浸透し、その安全確保の重要性は益々増大しています。このため、事業所における自主保安体制の確立を呼びかけるとともに、広く国民の危険物に対する意識の高揚と啓発を図ることとしたものです。

危険物施設においては、日常点検を実施する際には異常を見過ごすことのないよう点検の推進をお願いします！

【危険物】とは？

消防法で定められているもので、一般的に次のような危険性を持った物品をいいます。

1. 火災発生の危険性が大きい
2. 火災拡大の危険性が大きい
3. 消火の困難性が高い

※私たちの身近なものでは、ガソリン・灯油・油性塗料などがあります。



台風襲来の季節です！

台風や豪雨は、正確な気象情報を収集し、予想される事態への対策をとることで、被害を最小限にとどめることができます。以下のポイントを踏まえて事前に準備しましょう！

● 家の周囲を保全する

雨戸や屋根を補強する。アンテナはしっかり固定する。鉢植えや物干し竿など、飛ばされそうなものは屋内へ移動させるか固定を。プロパンガスのボンベもしっかり固定する。ブロック塀や外壁のひび割れや亀裂は補強する。側溝や排水溝は掃除し、水の流れをスムーズにしておきましょう。

● 停電に備える

懐中電灯や携帯ラジオ、予備の電池を準備しておきましょう。

● 断水に備える

飲料水を確保する。また、浴槽に水を張るなどして、トイレなどの生活用水の確保も。

● 窓ガラスを補強する

外から板などで補強したり、ガラスが飛ばないように内側からカーテンを引っ張りましょう。

● 気象情報に注意する

テレビやラジオで発表される気象庁からの警報・注意報や、消防団、村内防災無線からの情報に注意しましょう。

● むやみに外出しない

台風が接近しているときや、豪雨の危険性があるときは、むやみに外出しないようにしましょう。

● 安全な場所に避難する

被害が想定される場合には、事前に子どもや高齢者、病人などを安全な場所に避難させておきましょう。

緊急時には役場 49-2001まで！

アナログテレビ放送は7月24日に終了します

地デジを見るためには、デジタルテレビに買い換える、または、チューナーを買い足すなどの準備が必要になります。総務省及び沖縄県による補助申請が、7月24日消印までとなっています。

詳細はデジサポ沖縄または役場総務課までお問い合わせください。

デジサポ沖縄：098-993-1002 役場総務課 49-2001

〈〈〈地デジ受信の準備をお急ぎください〉〉〉

平成
23年度土づくり運動
について

土壌診断の実施

※全農家が
対象です。

土づくりの円滑な推進をはかるため、県、市町村(北部12市町村)、関係団体で連携し土壌診断を実施します。

受付期間 6月10日(金)～6月23日(木)

申込書 役場農林水産課・JA集出荷場(第1)

提出期間 上記期間内に申込書へ必要事項をご記入の上、土壌サンプルをJA集出荷場(第1)へ提出して下さい。

- ◎土壌サンプル採取後、約1週間程度乾燥する必要があるため、早めに採取して下さい(申請書に採取説明があります)
- ◎太陽の花、JA花卉部会に関しては組合で自主的に行いますので、組合の方へお問い合わせ下さい。
- ※ 北部12市町村一斉に行いますので“期間厳守”をお願いします。

肥料コスト低減には、まず適正な施肥量を把握することが大切です。土壌診断を行い、自分の畑がどんな状態にあるか確認しましょう!

平成23年度 駐留軍等労働者事前募集要項

1 応募資格

沖縄県在住の満18歳以上の方で、過去1年間に応募していない方

2 応募受付期間

インターネット

24時間通年受付中

窓口応募

通年受付中 午前9時から午後4時30分
(但し土曜、日曜、祝日及び
12月29日～翌年1月3日を除く)

3 応募方法

インターネット又は窓口のいずれか1回の応募で有効

インターネット

労務管理機構のホームページ
<http://www.lmo.go.jp>を開き【求人情報】
の【沖縄における事前募集】をご覧ください

窓口応募

指定の応募用紙に
必要事項を記入のうえ、
お申し込み下さい。

4 窓口応募受付場所
及び問合せ先

独立行政法人 駐留軍等労働者労務管理機構 沖縄支部管理課
沖縄県中頭郡嘉手納町字屋良1058番地 TEL 098-921-5532

平成23年度

自衛官募集案内

- 募集項目：自衛隊一般曹候補生
- 募集項目：自衛官候補生(男子・女子)
- 受験資格：18歳以上27歳未満の者
- 受験資格：18歳以上27歳未満の者
- 受付期間：8月1日～9月9日
- 受付期間：8月1日～9月9日
- 試験日：1次試験 9月17日
- 試験日：男子 9月24日
- 合格発表：1次合格 9月30日
- 合格発表：女子 9月25日
- 合格発表：男子 未定
- 合格発表：女子 11月10日

問い合わせ：沖縄地方協力本部 名護地域事務所

☎0980-52-4064

HP：<http://www.mod.go.jp/pco/okinawa/>



保健師だより 熱中症予防



熱中症は気温などの環境条件だけではなく、人間の体調や暑さに対する慣れなどが影響して起こります。気温がそれほど高くない日でも、湿度が高い・風が弱い日や、体が暑さに慣れていない時は注意が必要です。

熱中症の予防治法

①暑さを避けましょう。

具
体
例

- ・日陰を選んで歩く
- ・ブラインドやすだれを垂らす。
- ・日傘をさす。
- ・帽子をかぶる。
- ・扇風機や空調（エアコン）を使う。



②服装を工夫しましょう。

皮膚表面まで風通しがよく、汗を吸って服の表面から蒸発させることができるものが理想です。太陽光の下では熱を吸収して暑くなる黒色系の素材は避けた方がよいでしょう。



③こまめに水分を補給しましょう。

暑い日には、知らず知らずじわじわと汗をかいていますので、活動にかかわらずこまめに水分を補給しましょう。また、アルコールは尿の量を増やし体内の水分を排泄してしまうため、汗で失われた水分をビールなどで補給しようとする考え方は誤りです。

④急に暑くなる日に注意しましょう

人間が上手に発汗できるようになるには暑さへの慣れが必要です。体温が上がるのを防ぐために3～4日、熱いれんなどの症状が出ないように、身体が調整出来るようになるまでに3～4週間必要です。そのため、暑くなり始めや熱帯夜の翌日は注意しましょう。

⑤暑さに備えた体作りをしましょう

暑い日が続くと、身体がしだいに暑さに慣れて、暑さに強くなります。この慣れは日頃からウォーキングなどで汗をかき習慣を身につけていれば、夏の暑さにも対抗しやすくなり、熱中症にもかかりにくくなります。

⑥個人の条件を考慮しましょう。

熱中症の発生には、その日の体調が影響します。暑さに対して最も重要な働きをする汗は、血液中の水分と塩分から作られます。脱水状態や食事抜きといった状態のまま暑い環境に行くことは、絶対に避けなければなりません。特に二日酔いの人は非常に危険です。

⑦集団活動の場ではお互いに配慮しましょう。

ポ
イ
ン
ト

- ・責任者は休憩時間
- ・場所の確保をする。
- ・個人の体調を観察する。
- ・体調不良を気軽に相談できる雰囲気をつくる
- ・体調不良は正直に申告する。

高齢者への注意点

高齢者は温度に対する感覚が弱くなるために、室内でも熱中症になることがあります。そのため、室内に温度計を置き、こまめに水分を補給することを心がけましょう。

お問い合わせ：福祉保健課 49-2234、49-5000

～メッシュだより～

① 認定NPOに認定されました。

認定NPOとは、国税庁長官から認定された団体です。県内では2番目の認定となり、寄付金について課税上有利になるなど恩恵が受けられます。

③ メッシュヘリ耐空検査

メッシュヘリは航空法に定められた耐空検査の為、平成23年6月初旬まで運休となります。その間は沖縄県ドクターヘリやMESHドクターカーでの対応になります。

② 名護事務所再開

約1年ぶりに名護事務所再開しスタッフ2名が常駐しています。北部地域の皆様にお越しの際は、お気軽にお立ち寄り下さい。

認定NPO法人メッシュ・サポート名護事務所
名護市宇茂佐1712-3番地（北部医師会病院内）
電話 0980-54-1006

東北大震災医療活動報告

未曾有の大災害となった東北地方・太平洋沖地震。岩手・宮城・福島県を中心に壊滅的な被害が広がる中、現地の民医連病院・診療所では必死の医療活動が続いています。全日本民医連は「全国の心を一つに支援を」と呼びかけ、各県連で支援団が組織され続々と被災地に入っています。伊江村診療所所長阿部好弘先生はテレビで見える被災地の生々しい実態に、いてもたってもいられず自ら志願し、現地での医療活動に参加しました。被災地での活動報告を掲載致します。

三月二十日(日)に県医師会の第二陣として、那覇空港を出発した。

我々のメンバーは私を含む六名。宮古島の地下診療所から打出啓二医師と事務の佐久間卓君、皮膚科で開業されている桑江朝二郎医師、豊見城中央病院勤務の上山かおり看護師と上仁香奈看護師である。

打出医師は、阪神淡路大震災や世界各地の災害を経験しており、頼もしい存在である。佐久間君は自衛隊出身で、過酷な環境はものともしない強者で、これからの一週間は皆の食料調達となる。桑江医師は岩手医科大学出身で、思い出も多い土地のこと。土地勘を働かせ有力な情報を提供してくれることとなる。また、皮膚科の専門性を生かしながら、子ども達に風船の芸を披露し、被災地の子ども達に笑顔を提供してくれた。上山看護師は整形外科病棟で働いている。テキパキした動きと心遣いで診療以外でも助けてくれた。上仁看護師は普段は循環器病棟で働くが、被災地での過酷な環境の中で、彼女独特の雰囲気我々を和ませてくれた。

三月十一日(金)に津波・地震が東日本を襲ったとき、私はテレビではいられなかった。以前、新潟中越地震や台湾地震での医療支援の経験があるが、今回は伊江島という離島から支援に行くのは困難だろうとあきらめていた。土・日に島で救患対応をし、月・火と日常の外来をこなしながらも、東日本震災への思いは徐々に強くなっていった。いてもたってもいられないという気持ちだろうが、十五日(火)の午後、気がついた時には県医師会に電話を入れていた。ちょうど第二陣の募集を行うところとのことで、私の電話での派遣の申し入れを快く引き受けて下さった。

すぐに、伊江島での医師応援の調整をし、何とか私の不在中の診療をお願いすることができた。彼らの応援がなければこの派遣は実現できなかっただろう。

我々は、羽田で飛行機を乗り換え、花巻空港に午後五時頃に着く。箱詰めの多くの物資(薬品、食品など)を自衛隊の車両に移す。汗だくにな

りながら花巻のひんやりした空気を肌を感じる。

車両の後に座って現地向かう。真っ暗な幌のついた後部車両の中で、隙間から吹き込む冷たい風に東北の寒さが徐々に身にしみてきた(写真①)。

釜石市を経由して海岸沿いに大槌町に向かうのだが、幌のビニールの窓から災害地の悲惨な情景が暗闇の中に徐々に広がってきた。大槌町内によくやく入り、自衛隊員も道に迷いながら、自家発電で唯一灯りのともる大槌町の城山体育館に到着したのは夜の八時過ぎだった。

第一陣の医療スタッフを迎えてくれ、出口医師から申し送りを受ける。その日は温かいけんちん汁をこちそうになる。温かい食料があったのは意外だった。早々と寝袋に入るが、あまりの寒さに時々目を覚ます。夜中二時頃、余震で建物が揺れるのを感じる。

明け方、六時過ぎには目が覚める。ペットボトルの水を一口だけ口に含み歯磨きをし、顔はウエットティッシュで拭く。

外に出て、町を見渡し、その悲惨な情景に息をのむ。近くの小学校の校庭には津波で流されてきた車が散在していた(写真②)。裏山の方からは町全体が見渡せるが、ほとんど建物は残っていない(写真③)。大槌町は津波と同時に火災も同時に発生しており、その焼け跡は手つかずの状態だった(写真④)。

電気は東北電力の自家発電でまかなっており(写真⑤)、避難所に水は支給されていたが(写真⑥)、付近の民家は川の水を利用して(写真

⑦)。体育館内のトイレは水が使えず、紙で包んでビニール袋にひとまとめにしていた(写真⑧)。体育館内のトイレは避難者用と考え、我々は外の簡易トイレ(名古屋からのイスラム教徒ボランティア団体が設置)をほとんど使用することになる(写真⑨)。体育館内に避難されている方々は約七〇〇名で、二階には自衛隊、救急隊、役場職員の大槌町対策本部が設置されていた。

夜は、救護所の床の上で仮眠を取った(写真⑩)。

以下の一週間の活動状況を記す。

三月二十一日(月)

外来は、六十七名。高血圧、糖尿病など慢性疾患の方が多く、必要最低限の内服薬を二三日間分ずつ処方する。他に、発熱などの感冒症状もある。

カルテは一人一人に診療録を作成し、前回の受診状況がわかるようにする。

往診は、かみよ・稲穂会館と小槌多目的集会場の二箇所。発熱、腹痛の方を診察する。

午後六時三十分より地元の保健師さん五名を交えてミーティングを開始する(写真⑪)。彼女らは被災以来、この避難所で働き自宅には戻っていない。また、その自宅も流されてしまっている。彼女らから被災当時の状況が生の声で伝えられ、我々は言葉もなく、ただ耳を傾けるだけだった。ミーティングの後、スタッフはお互い感じたものがあり、この人たちのためにも頑張ろうという気持ちで一つになった。

毎日診療の記録をその日のうちにまとめ、翌日に釜石市の合同庁舎からFAXを送ることにする。そのなかに現在不足する医療品をリストアップする。

通信手段は衛星電話を持ち込み、県医師会との交信は可能となっていた。

三月二十二日(火)

外来は六十九名。昨日の脳梗塞疑いの方は点滴と内服にて症状が改善している。

心臓手術後の六ヶ月の男児の発熱症状も改善。

往診はケアプラザ大辻あかね会二十二名。骨折の患者を製鉄記念病院へ搬送。

避難所は各地に散在し、大槌町で三十六カ所。ガソリンなどの燃料がなく動けない状況である。この日はこの地区に津波警報がたようだが、我々には情報がなかった。後から注意報に変わったとの連絡があった。

昼に岩手県釜石医師会長の小泉嘉明医師と副会長が訪問。地元の小児科医の藤井医師も挨拶に来られる。また、沖縄のMESH代表の小濱医師も挨拶に来られる。

避難所の個人宅には自衛隊が訪問し避難者の確認を行っているが、個人宅には物資が届いていないとのこと。集会場まで取りに行くように呼びかけているようである。

三月二十三日(水)

外来八十名。小児の熱性けいれん、右膝挫傷、左足腫瘍などもある。患者利用の巡回バスも開始となり、午前中の初



診の方も増えることが予想された。

往診六十六名。金沢支所、金沢改善センターの二方所。慢性疾患の処方ほとんど。避難所での生活に疲れているはずなのだが、お年の方々の明るい笑顔が印象的だった。一人一人の訴えを十分に聞き、少しでも彼らの気持ちがあらぐように対応した。

本日より、町のつくし薬局が救護所の隣で開設する。今までと違い、処方の手間がなくなり、かなり当方の負担が減った。小児の上気道炎などの約束処方も取り決め、薬剤の調達が現地でも可能となりそうである。

午後五時から、釜石市対策本部での会議に参加(写真⑩)。各避難所の状況確認と医師派遣の調整を行っている。対策本部の小田島さんから今後の予定を聞かれ、現在第五陣までの派遣チームが予定されていることを伝える。引き続きの医療支援をお願いされる。

午後七時から保健師三名を含むミーティングで、午後八時に開催された地元開業医による会議の報告がある。一カ所に医師が常駐するより各ヶ所に医師を展開させ、地域住民が歩いて受診ができる体制がいいとの事。そのため、被災にあった地元開業医は避難地区を中心に医療活動を継続していく。また、今後、大槌地区には大槌病院が必要という声が出てきている事から、仮設の病院の話がでてくる。しかしその道のりは長く、我々(沖縄県医師会)は、地元での診療の再建を願い、そのお手伝いができたらと思う。

三月二十四日(木)

外来五十九名。慢性疾患の処方。上気道炎、花粉症が多い。

往診二十七名。大カ口集会場。上気道炎が多い。時間外七名。

弓道場で医療活動をされている地元の大槌医師が来られ、お互いの労を労う。

午後五時の対策本部に出席。各避難所に複数のチームが入っているため、調整をお願いする。大槌高校の救護所の医療スタッフは、被災当時から大槌病院の職員が働いていたが、疲労と家族の確認などのため明日から休みに入る。そのかわり大阪府医師会が常駐することになる。

三月二十五日(金)

外来七十名。時間外二名。往診なし。一歳児の嘔吐による脱水症状があり点滴にて症状改善。統合失調症の五十八歳女性を桑江医師が保健師とともに釜石厚生病院へ搬送。

午後六時四十分隣に隣の避難所で吐血・出血性ショックの患者が発生。小山看護師が輸液を確保し、呼吸状態が悪いため打出医師も併い製鉄記念病院へ搬送する。

午後五時の釜石市対策本部へ私と上仁看護師、佐久川事務担当が参加する。

午後七時は地元の保健師三名と宮崎保健所の保健師三名を交えてミーティング。避難所内での感冒症状、血圧上昇があり救護所の受診を進めている。被災者へのイソジン、ガールルの配布をする。屋外のトイレに消毒薬を設置する。医療廃棄物は持ち帰る事にし、明日宅急便で沖縄へ送る事にする。

午後八時に第三陣が無事到着。保健師さん達への紹介と申し送りを行う。

三陣に持ってきてもらったアルバムを、先日の保健師さんにプレゼントする。夜中、二時頃に不眠症状の方が救護所を受診される。胸がドキドキするなどの不安症状も伴っているようだった。

三月二十六日(土)

午前中は、第三陣に引き継ぎを兼ねて診療を行う。

午後、この一週間我々の医療活動を支えて下さった、いつも明るい笑顔の保健師さんや薬局の方がたに別れを伝えて、後ろ髪を引かれる思いで帰路に向かった(写真⑬)。この被災地で明るく前向きに頑張る彼らの姿には、本当に頭の下がる思いであり、きっと復興の道が開けるとの希望が見えた。

最後に、この度、災害医療支援の機会を与えて下さった県医師会の皆様にお礼を申し上げます。また、不在中の伊江村診療所のスタッフ、不在中の支援を下さった北部地区医師会病院救急部と地域医療支援センターの諸見医師、また現地で共に仕事をしたスタッフの皆様に感謝します。そして、この活動が地元の本当の復興に長く支援していく事ができます事を心よりお祈り申し上げます。

伊江島産ラム酒の本格製造へ

伊江島物産センター運営の伊江島蒸留所の開所式が5月30日に、行われました。大城村長がバルブを開け蒸留器へ蒸気を送り、ラム酒の本格製造がスタートしました。物産センターでは7月末発売予定で製造作業を進めています。イエラムサンタマリアと名付けられ、樽で熟成させたゴールドと透明感あるクリスタルの二種類があります。本年度のさとうきびの原料確保は72トン、30,000本の製造を見込んでいて、長い間島の農業を支えてきたサトウキビの、新しい歴史が始まろうとしています。



狂犬病注意!!!

狂犬病は、哺乳類や鳥類などすべての恒温動物に感受性がありますが、特に犬を始め、キツネ、オオカミ等犬の仲間が感染しやすいウイルス性の病気です。

この病気の恐ろしさは、症状の悲惨なこともさることながら、いったん発生すると現在の医学でも治療方法は全くなく、その**死亡率が100%**に至るところにあります。

◆潜伏期間

犬が狂犬病のウイルスに感染し、発病するまでのいわゆる潜伏期間は、非常に個体差がありますが、普通20日から60日であり平均1ヶ月前後です。

◆症 状

狂犬病にかかった犬の症状は、一般的には狂躁時と麻痺時に分けられ、狂躁時は、神経過敏・凶暴性を示し、見境なく咬みつくようになります。このため、歯を折ったり、くちびるや舌にケガをして、口から血の混

じった泡や唾液を出します。鳴き声も異常で、目は大きく見開かれます。

麻痺時は狂躁時ほど激しい症状が見られず、診断が付きにくいことがあります。頭や頸の筋肉が麻痺するため、餌を食べることが難しくなります。この両方の症状が経過の中で現れます。

◆平成23年度伊江村狂犬病予防注射実施結果

5月18日と19日の2日間にかけて狂犬病予防注射を実施しました。

全体の実施率が66.02%で、昨年の53.88%を12.14%上回りました。

村民の狂犬病にたいする関心が高まっているのがわかります。しかし、狂犬病予防接種を実施していない登録犬もいる状況です。今年度中には予防注射を受け、役場建設課に注射済みの申請をしてください。(予防注射は、飼い主の義務です!!)

その場合、注射済票交付手数料として550円が必要です。

◆平成23年度 伊江村行政区別狂犬病予防注射実施状況一覧表

平成23年5月23日現在

行政区	台帳登録頭数 (A)	新規登 (B)	対象頭数 (C) (A) + (B)	注射済頭数 (D)		新規登録のみ	済票の配布のみ	未注射頭数	実施率 (D)/(C)×100
				うち新規					
東江上	52	11	63	50	11	0	0	13	79.37%
東江前	45	12	57	41	9	3	1	16	71.93%
阿 良	30	0	30	15	0	0	0	15	50.00%
西江上	50	1	51	28	1	0	1	23	54.90%
西江前	35	5	40	25	4	1	0	15	62.50%
川 平	60	7	67	49	7	0	2	18	73.13%
真 謝	15	0	15	5	0	0	0	10	33.33%
西 崎	37	2	39	26	1	1	0	13	66.67%
計	324	38	362	239	33	5	4	123	66.02%

ハブに注意!

平成23年ハブ咬症注意報

沖縄県より平成23年5月1日から6月30日までの間、ハブ咬症注意報を発令し、広く県民や観光客の皆さんがハブ咬症被害を未然に防止するよう呼びかけています。

沖縄県において年間100人前後のハブ咬症患者が発生しております。伊江村では昨年2件のハブ咬症が報告されています。気温が暖かくなるとハブの行動が活発になり、加えて農作業や行楽等で田畑や野山への出入りが多くなるこの時期に、ハブ咬症被害も多く発生しております。

○ハブの特徴

- ①夜行性で薄暗くなってから活動を始める
- ②温暖な沖縄県において冬眠しない
- ③タンパク質を分解する出血毒を有し人体に入ると毛細血管を壊すため、激しい痛みと腫れをもたらす。
- ④体長 平均：1.3m～2.2m
- ⑤攻撃範囲は体長の3分の2程度なのでそれ以上離れると安心
(例)：体長1.5mのハブ攻撃範囲：1.5m+1m=2.5m安全域ハブより2.5mより外
- ⑥日中の被害は、草地などで休んでるハブの攻撃範囲に誤って入った場合である。(草地の色と同じため確認が困難な為)
- ⑦牙毒は年に数回生えかわる。

○ハブに咬まれた際の対処法

- ①激しい動きをしない(走ったりしない!!)
- ②身近な人に助けを求めましょう。
- ③応急処置として傷口から吸引機等で毒を繰返し吸い出しましょう。
※本人の口で毒を吸い出しても人体に問題ありません。
※他人の傷口を口で吸引する場合、その他の感染症の恐れがあるため避ける。
- ④早急に医療機関で治療を受けましょう
- ⑤病院まで時間がかかる場合は、血の流れを減らす程度にゆるく縛ります。

○行動に関する注意点

- ①田畑や野山、草地等への出入りは可能な限り、靴(長靴)・帽子長袖・長ズボンなどを着用し、肌の露出を避ける。
- ②夜間に歩行するさいは、懐中電灯などの照明機器を持つようにする。
- ③ハブが出現しそうな場所(湿度が高く、隠れ家となる穴が多い所)では身の周りを良く確認しましょう。

○ハブについての迷信

- ①アカマタのいるところにもハブはいます。
- ②ハブはイオウやホウセンカを嫌いません。
- ③音が聞こえないヘビは、口笛に引き寄せられません
- ④口で毒を吸うとき、虫歯があっても、毒を飲み込んで大丈夫です。

沖縄県のハブ類咬症の推移

年	ハブ	サキシマハブ	ヒメハブ
2000	82	36	17
01	61	30	6
02	61	32	9
03	63	23	7
04	43	22	3
05	67	26	13
06	62	30	10
07	61	27	8
08	65	21	8
09	55	33	7
10	48	21	9
計	668	301	97

表-1 沖縄県の毒蛇咬症の推移

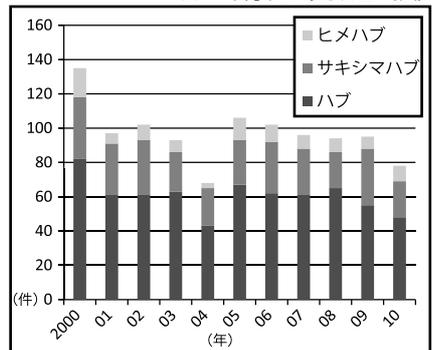


図-1 沖縄県の毒蛇咬症の推移

伊江村におけるハブ咬症発生状況	年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
	件数	0	0	2	0	2

単位：(件)

図-2 伊江村におけるハブ咬症発生状況

参考資料：平成22年度抗毒素研究報告書より抜粋

平成23年度 子牛共進会

各区から選抜された優良子牛31頭（去勢牛16頭、雌牛15頭）が一堂に集い、5月13日に村家畜市場で、平成23年度伊江村子牛共進会が開催されました。

厳選な審査の結果、子牛去勢の部で棚原健三さんの「藤忠花号」が、子牛雌の部で内間秀喜さんの「かつひめ1号」がそれぞれ優等賞に輝きました。今回は女性の引き手の方も参加され、会場に華をそえました。

また、昨年は家畜伝染病口蹄疫の影響で子牛共進会、5月6月のセリ市の開催中止、再開されたセリ市においても価格の低迷による経営圧迫等、畜産農家にとって大変厳しい年となりましたが、11月に開催された県畜産共進会では、団体の部で2年振りの優勝、2月に開催されたおきなわ食と花のフェスティバルにおいて、伊江畜産青年部会「島牛会」がふるさと100選に認定される等、県内外から高い評価を受けており、素牛産地として更なる飛躍が期待されます。



◀ 子牛去勢の部優等 藤忠花



▲ 子牛雌の部 優等 かつひめ1号



平成23年度伊江村子牛共進会入賞牛名簿

子牛去勢			
等級	名号	区名	氏名
優等	藤忠花	東江前	棚原 健三
一等一席	奈菜波	東江上	大城 清和
一等二席	秋 冬	西 崎	金城 清司
二等一席	希 波	西江前	内間 ハル
二等二席	俊 太	西 崎	小橋川嘉範
二等三席	牧場王	西江前	小波津一平

◎出品参加頭数16頭

子牛 雌			
等級	名号	区名	氏名
優等	かつひめ1	西江上	内間 秀喜
一等一席	しずか	西江前	知念 健次
一等二席	いくえい	東江前	内田 徹
二等一席	ただかつ	川 平	長嶺 勝次
二等二席	ふくこ	西 崎	知念 治夫
二等三席	ふくざくら	阿 良	金城 棟秀

◎出品参加頭数15頭



陸上王国健在!!

5月に行われた陸上競技大会において、伊江中学校生徒や、伊江村出身者が素晴らしい成績に輝きました。まさに陸上王国伊江村!! 8位入賞者記録を掲載します。これからも今回以上に素晴らしい成績を残せる様頑張っていただきたいです。

第62回沖縄陸上競技選手権大会兼国体選考会

平成23年5月7日(土)～8日(日) 県総合運動公園 8位入賞者

男子

氏名	順位	種目	記録	所属
島袋 大和	1位	少年B走幅跳	6m11	伊 江 中(3)
富田 忠希	2位	少年B100mH	17"59	中部商業高(1)
喜屋武春樹	4位	一般三段跳	13m44	名 桜 大 学(2)
蔵下 祐人	4位	一般走幅跳	6m61	中部商業高(2)
蔵下 祐人	5位	400mR(1走者)	43"59	中部商業高(2)
富田 忠希		400mR(3走者)		中部商業高(1)
島袋 優太	7位	400mR(3走者)	44"40	中部商業高(1)
大城 大地	6位	一般5000m	15'47"07	WellAC
渡久地真悟	6位	一般100m	11"11	九州共立大(3)
並里 帆貴	6位	一般棒高跳	4m00	沖縄水産高(2)
内間未羅之	8位	一般棒高跳	3m80	南風原高(1)
金城 義也	5位	1600mR(4走者)	3'35"34	沖縄水産高(2)
富田 忠希	6位	1600mR(3走者)	3'35"34	中部商業高(1)
蔵下 祐人		1600mR(4走者)		中部商業高(2)
大城 築	7位	一般やり投	46m85	沖縄水産高(3)
富田 忠希	8位	少年B100m	12"13	中部商業高(1)

女子

氏名	順位	種目	記録	所属
渡久地未波	1位	少年Bジャベリックスロー	33m04	伊 江 中(3)
金城 麟	3位	少年Bジャベリックスロー	31m28	伊 江 中(3)
安里 遥香	2位	一般3000mW	15'51"20	那 覇 西 高(3)
渡久地杏奈	2位	7種競技	3,597点	那 覇 西 高(3)
		100mH 走高跳 砲丸投 200m 走幅跳 やり投 800m (16'51) (1m25) (8m55) (28'37) (4m95) (36m91) (2'57"11)		
奈良 愛梨	4位	7種競技	2,715点	中部商業高(1)
		100mH 走高跳 砲丸投 200m 走幅跳 やり投 800m (18'55) (1m37) (8m18) (30"24) (4m50) (19m55) (3'10"10)		
内間 千畝	6位	一般400m	69"78	中部商業高(2)
石新 恵	6位	一般砲丸投	9m54	中部商業高(1)
石新 恵	8位	一般円盤投	20m45	中部商業高(1)
玉城 佳子	8位	少年B100m	14"11	伊 江 中(3)

第33回沖縄県中学校陸上競技選手権大会

平成23年5月21日(土)～22日(日) 沖縄市営陸上競技場 8位入賞者

氏名	順位	種目	記録	所属
島袋 大和	1位	共通走幅跳	6m18	伊 江 中(3)
島袋 大和	1位	共通三段跳	12m18	伊 江 中(3)
金城 麟	1位	共通砲丸投	10m69	伊 江 中(3)
島袋 大和	2位	共通110mH	17"18	伊 江 中(3)
石新 航洋	2位	共通棒高跳	3m10	伊 江 中(3)
渡久地未波	2位	円盤投	21m15	伊 江 中(3)
金城 麟	3位	円盤投	18m67	伊 江 中(3)
渡久地未波	3位	ジャベリックスロー	34m93	伊 江 中(3)
渡久地未波	4位	共通砲丸投	9m49	伊 江 中(3)
石新 航洋	5位	共通400m	61"09	伊 江 中(3)
玉城 佳子	6位	共通走幅跳	4m35	伊 江 中(3)
内間 凜	7位	1年走幅跳	3m68	伊 江 中(1)
金城 沙希	8位	共通走幅跳	3m99	伊 江 中(2)

第81回九州学生対抗選手権大会

平成23年5月21日(土)～22日(日) 熊本県民総合運動公園 8位入賞者

氏名	順位	種目	記録	所属
渡久地真悟	8位	100m	11"02	九州共立大
崎浜 絵美	8位	10000m	36'37"98	鹿屋体育大

満1歳

お誕生日
おめでとう

大城 綾斗(あやと)くん

性別：男

生年月日：平成22年6月29日生

父：大城 純二

母：大城 郁美

行政区：川平

我が家のアイドル。キラキラ輝くお星さま☆
その笑顔に皆癒されます。

照屋 悠吏(ゆうい)くん

性別：男

生年月日：平成22年6月18日生

父：照屋 爽

母：照屋 望

行政区：西崎

好奇心旺盛なゆうい!!たくましく
思いやりのある子になりまよう!!★

初優勝!!

4月29日に第14回ゆがふいんおきなわ杯争奪国頭地区中学校野球大会が開催され、伊江中学校野球部が初優勝を果たしました。大会史上初めて優勝旗が海を渡り、伊江港には多くの保護者や教育関係者が集まり、野球部員を拍手と歓声で出迎えました。主将の知念翔大君は「皆さんの応援のおかげで初優勝できました。これから一試合でも多く戦えるように頑張ります」と今後の抱負を語りました。



見えますか小さな子どもも大きな命



幼い子どもの交通事故を無くそうと、5月31日、伊江村内3保育所で交通安全教室が行われました。

本部警察署交通課職員と本部交通安全協会職員2名を講師に招き、信号機の見方、横断歩道の安全な渡り方、交通事故の恐ろしさ等を学びました。

教室では、腹話術人形のこうちゃんが登場し、園児達と交通安全について学び、「車に注意する。飛び出しは絶対にしない。元気良く学校に行く。」と、3つの約束をして、交通事故にあわないように気をつけますと元気よく約束しました。

伊江小学校がJGTOの部で全国への切符をつかみました

第6回リリーカップ沖縄県スナッグゴルフ伊江島大会全国小学生ゴルフトーナメントスナッグゴルフ沖縄予選が、伊江島カントリークラブで開催されました。

大会には、村内2小学校と、村外から壺屋小学校・狩俣小学校計4校が参加して、技を競い合いました。

各チーム全国大会の出場権をかけ、全力でプレーし、村内外から応援にかけつけた保護者らを、素晴らしいプレーで大いに沸かせました。

また、全国大会の開催予定地であった、福島県富岡町の東日本大震災及び、福島第一原発の災害からの1日も早い復興を願い、大会関係者、参加者により復興支援の義援金活動を行いました。

